National カラー玄関番3：3型

WQC4430W

●正しい施工をしていただくため、必ずお読みください。
●施工するには、電気工事士の資格が必要です。
●施工後、必ず施主様に商品説明をしていただき、取扱説明書と施工説明書をお渡しください。
●保証書に必ず必要事項を記入してください。
●万一、施工説明書にしたがわず施工された場合の事故や故障などについては責任を負い兼ねることがあります。

付属品	WQC4430W	WQC4460W
●取付用なべタッピンネジ(4×20)	2本	
●位置決めゲージ	1枚	
●お客様ご相談窓口一覧表	1枚	
●取扱説明書	1冊	—
●保証書	1枚	—
●施工説明書(本紙)	1枚	

安全上のご注意

●ご使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
●ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ずお守りください。

⚠警告 人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容

⚠警告

必ず電源(AC100V)を切った状態で施工する。
活線工事は感電や故障の原因となります。 (必ず守る)

水や雨のかかる場所(屋外など)および湿気の多い場所(浴室など)には設置しない。
感電の原因となります。 (禁止)

AC100V用電源線は確実に差し込む。
差し込みが不十分な場合、発熱するおそれがあり、火災や焼損の原因となります。 (必ず守る)

小勢力端子にAC100V用電源線を接続しない。
発火・発煙の原因となります。 (禁止)

絶対に分解したり、修理・改造しない。
感電の原因となります。 (分解禁止)

施工上のご注意

●子器はカラー玄関番用カメラ付ドアホン子器(WQC品番)、カラー玄関番用ドアホン子器(WQC品番)またはカラーカメラ子器(センサー内蔵タイプ・センサー別置タイプ)(WQC品番)を使用してください。ほかのカメラ付ドアホン子器またはドアホン子器は接続できません。(WQS品番、WQR品番、EJ品番は使用できません。)

●近くに高出力の無線局などがあると映像や音声が乱れる場合がありますが、故障ではありません。
●親機・副親機とカラーカメラ付ドアホン子器・カラーカメラ子器間の配線を電灯線、電話回線などと平行配線する場合は、50cm以上離してください。音声に雑音が入ったり、映像が乱れる場合があります。
●接続機器については、その商品に付属の説明書をよくお読みください。

■親機・副親機に関する注意

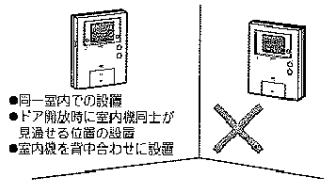
●親機・副親機は屋内専用です。屋外には設置しないでください。
●親機・副親機の近くに強い磁気を発生するものがあると映像や音声が乱れる場合がありますので、注意してください。
●液晶の破損の原因となりますので、落としたり強い衝撃を与えないでください。
●ドアホンアダプターを接続して使用している場合、雷発生時に電話回線に誘導電圧が発生して親機が故障する場合があります。保護として[サンダーカット(補修品番:WQT615MS4600)]などのご使用をおすすめします。

副親機・通話副親機に関するご注意

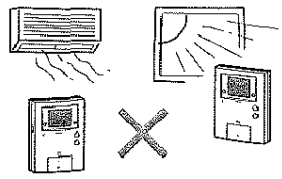
●親機(WQC4430W)は副親機にはWQC4460W、通話副親機にはWQC4470Wを組み合わせて使用してください。
●副親機(WQC4460W)は、録画・録音機能付の親機(WQC444W・WQC4440W)の副親機としても使用できます。ただし、WQC4460Wでは電気錠の施解錠操作はできません。親機と副親機間の配線方法は同じですが、詳細については、親機(WQC444W・WQC4440W)に付属の説明書を参照してください。

次のような場所には設置しないでください。

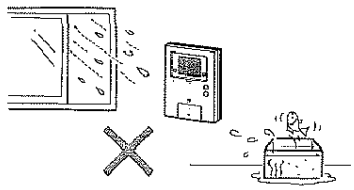
誤動作や故障の原因となります。



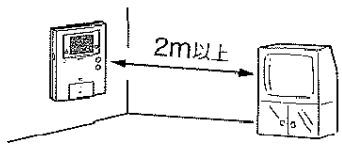
室内機間で音が回り込む位置
●ハウリング(ピー音がして通話ができなくなる)の原因となります。



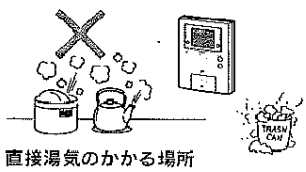
極端に寒い場所・暑い場所
(冷・暖房の近くや、直射日光の当たる場所)



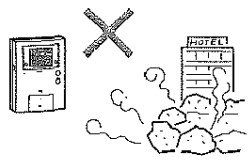
水や雨がかかる場所(屋外など)
●感電の原因となります。



テレビ、ラジオ、ステレオなどの近く
(2m以上離してください。)
●映像や音声が乱れる場合があります。



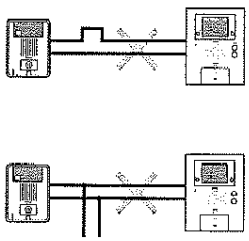
直接湯気のかかる場所
湿気の多い場所(浴室など)
ゴミやホコリの多い場所



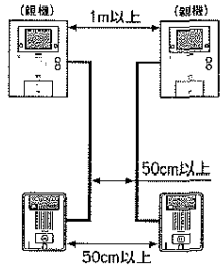
硫化水素の発生する場所(温泉地など)
●寿命が短くなることがあります。

配線上のご注意

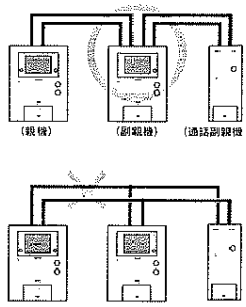
●親機と副親機間、および親機とカラーカメラ付ドアホン子器・カラーカメラ子器間に不要な配線がある場合は、取り除くか新たに配線をしてください。また配線をばらしたり、分岐しないでください。映像や音声が乱れる場合があります。



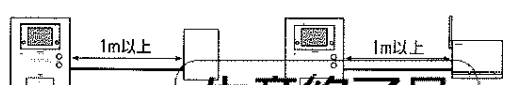
●カラー玄関番3：3型のセットを2組以上使用する場合は下図のように設置してください。50cm以上離さないと、映像や音声が乱れる場合があります。



●親機と副親機間および副親機と通話副親機間は、必ず一筆書き配線で結線してください。分岐配線すると、映像が乱れる場合があります。



●親機とドアホンアダプターまたは親機とドアトークターミナルは1m以上離して設置してください。1m以上離さないと、映像や音声が乱れる場合があります。



生産終了品
この商品は生産終了につき製造することができません

生産終了品
この商品は生産終了につき製造することができません

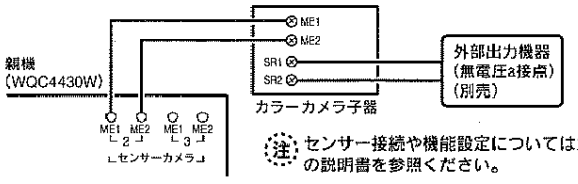
親　機 WQC4430W
副 親 機 WQC4460W

施工説明書

配線方法

●接続する商品は別途お買い求めください。
●○端子は速結端子、⊘端子はネジ端子を示します。

カラーカメラ子器（センサー内蔵タイプまたはセンサー別置タイプ）も接続できます。



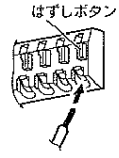
注 センサー接続や機能設定についてはカラーカメラ子器の説明書を参照ください。

注 ●配線には必ず平行ケーブルを使用してください。
（同軸ケーブルは使用できません。）
●カメラドアホン1端子には、カラーカメラ付ドアホン子器を接続されることをおすすめします。
モニターボタンを押したときカメラドアホン1から動作するため、映像確認がすぐにできます。
カメラドアホン1端子には、カラーカメラ子器（センサー内蔵タイプまたはセンサー別置タイプ）は接続できません。

小勢力配線（速結端子）

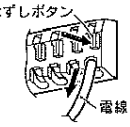
❶ 電線の被ふくを 10mm むく。

❷ 奥まで突き当たるまで差し込む。
差し込む。



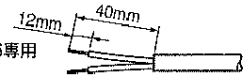
⚠警告
小勢力端子にAC100V用電源線を接続しない。
発火・発煙の原因となります。
禁止

■電線のはずし方
⊖ドライバーでしっかりはずしボタンを押しながら、電線を引き抜く。



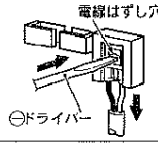
AC100V配線

❶ 絶縁板をはずす。
（はずし方は裏面の「絶縁板について」を参照）
❷ 電線の被ふくを 12mm むく。
❸ 奥まで突き当たるまで差し込む。

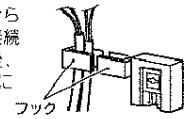


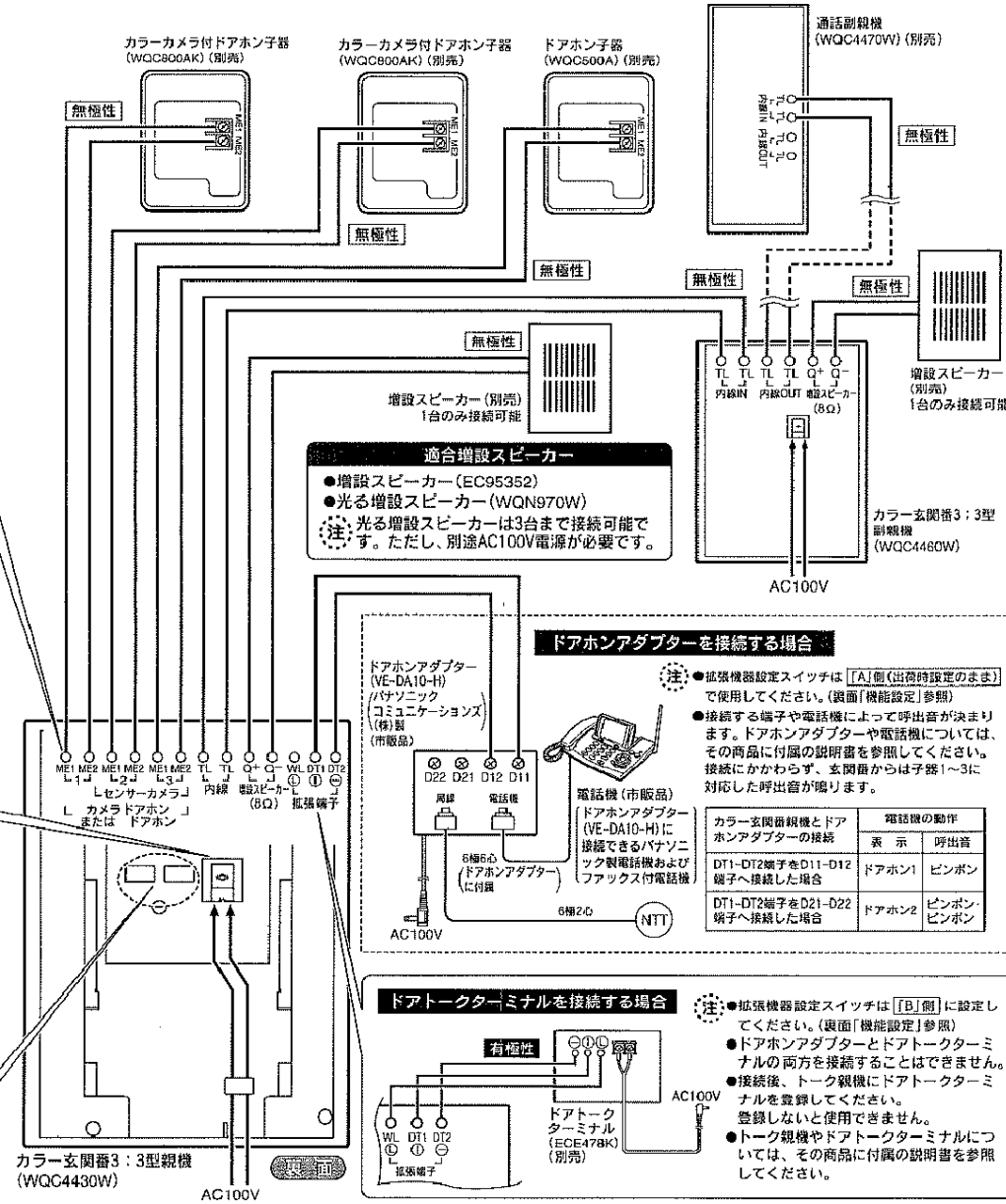
⚠警告
AC100V用電源線は確実に差し込む。
差し込みが不十分な場合、発熱するおそれがあり、火災や焼損の原因となります。
必ず守る

■電線のはずし方
⊖ドライバーで電線はずし穴を押さえながら、電線を引き抜く。



電線が取付金具で傷つけられるのを防ぐため、各接続機器への配線は、結線後、1本ずつ順序良くフックに引っ掛けてください。





ドアホンアダプターを接続する場合

注 ●拡張機器設定スイッチは「A」側（出荷時設定のまま）で使用してください。（裏面「機能設定」参照）
●接続する端子や電話機によって呼出音が決まります。ドアホンアダプターや電話機については、その商品に付属の説明書を参照してください。接続にかかわらず、玄関番からは子器1～3に対応した呼出音が鳴ります。

カラー玄関番親機とドアホンアダプターの接続	電話機の動作	
	表　示	呼出音
DT1-DT2端子をD11-D12端子へ接続した場合	ドアホン1	ピンポン
DT1-DT2端子をD21-D22端子へ接続した場合	ドアホン2	ピンポン・ピンポン

ドアトークターミナルを接続する場合

注 ●拡張機器設定スイッチは「B」側に設定してください。（裏面「機能設定」参照）
●ドアホンアダプターとドアトークターミナルの両方を接続することはできません。
●接続後、トーク親機にドアトークターミナルを登録してください。
登録しないと使用できません。
●トーク親機やドアトークターミナルについては、その商品に付属の説明書を参照してください。

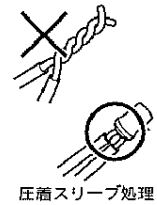
■接続機器と接続可能台数

親機（WQC4430W）	1台
副親機（WQC4460W） 通話副親機（WQC4470W）	合計で2台まで接続可能
カラーカメラ付ドアホン子器（露出型）（WQC800AK） ドアホン子器（WQC500A） カラーカメラ子器（センサー内蔵タイプ）（WQC835A・F） カラーカメラ子器（センサー別置タイプ）（WQC834A・F・W）	合計で3台まで接続可能 （カラーカメラ子器は2台まで接続可能） 注 埋込型およびFFシリーズのカラーカメラ付ドアホン子器も使用できます。

■配線可能距離

配線区間 ＼ 使用電線	φ0.65mm	φ0.9mm
親機～カラーカメラ付ドアホン子器、～ドアホン子器、～カラーカメラ子器	100m	
親機～最終端の副親機または通話副親機	100m	
親機・副親機～増設スピーカー	50m	
親機～ドアホンアダプター	※ 90m	
親機～ドアトークターミナル	100m	

注 結線終了後、断線や接続不十分な部分がないか必ず確認してください。
特に配線の途中で電線接続する場合は、ハンダ付処理か圧着スリーブ処理を行い、その後テーピングで絶縁してください。
電線をよじっただけでは、接触不足や、長期間使用中に電線表面が酸化し接触不良をおこし、誤作動や動作しないなどの原因となります。



●子器への配線などが より線 の場合、単線 に変換して接続してください。
（接続方法は圧着または、はんだ付処理を行ってください。上記、注意文章参照）
●※ループ抵抗：最大10Ωまで

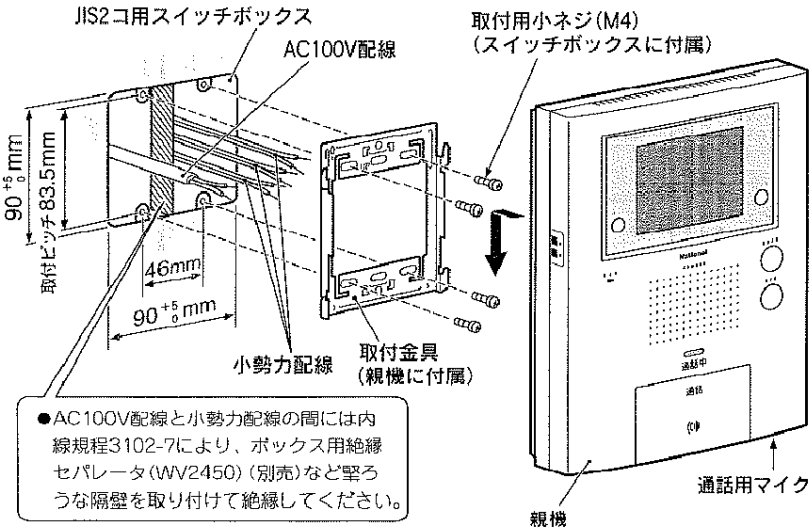
取付方法

●下記の図は親機(WQC4430W)を示します。副親機(WQC4460W)も取付方法は同じです。
●壁面に取り付ける前に機能設定をしてください。(右記参照)

ボックス取付の場合

ご注意

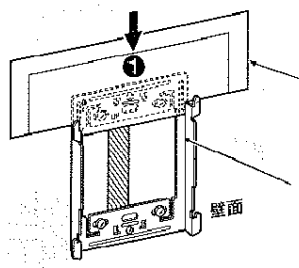
●下側に通話用マイクがありますので、親機下面から50cm以内には反響物のない場所に取り付け、通話用マイクをふさがないようにしてください。
(通話音量の低下およびハウリングのおそれがあります。)
●取付穴の中心より親機の中心は15mmさがります。
●商品を取りはずす際、上側にスライドさせる必要があるため、取付金具上部から50mm以内には障害物がない位置に取り付けてください。また、左側面には異常時処理スイッチがありますのでスイッチが操作できる場所に取り付けてください。
●取付高さは床面より親機中心まで145cmをおすすめします。



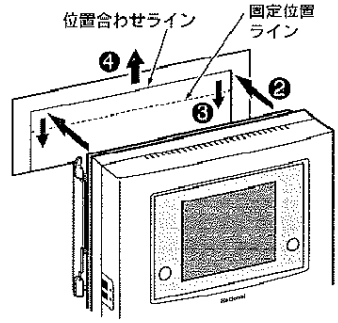
●AC100V配線と小勢力配線の間には内線規程3102-7により、ボックス用絶縁セパレータ(WV2450)(別売)など堅ろうな隔壁を取り付けて絶縁してください。

位置決めゲージの使用方法

位置決めゲージは本体を取付金具に取り付けやすくするものです。
位置決めゲージを使用せずに取り付けることもできます。



❶結線後、取付金具に位置決めゲージを差し込む。



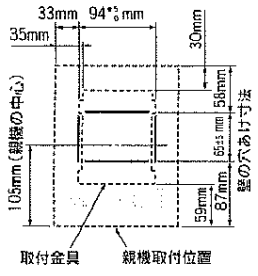
❷位置合わせラインに本体を合わせる。(1~2mm浮きます)
❸本体を固定位置ラインまでさげる。
❹本体がぐらつかず取り付いていることを確認し、位置決めゲージを引き抜く。

ボックスなし取付の場合

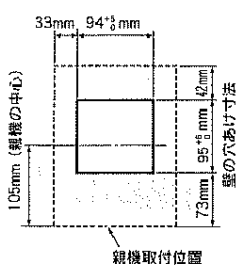
●AC100V配線と小勢力配線が接触しないように施工してください。
●ほかの取付方法はボックス取付と同じです。
●木壁取付の場合、取付金具は付属の取付用なべタッピンネジ2本で取り付けてください。
注 石膏ボードへの取り付けは脱落を防止するため、必ずはさみ金具(別売)を使用してください。

■壁の穴あけ寸法

●取付用なべタッピンネジを使用する場合



●はさみ金具を使用する場合

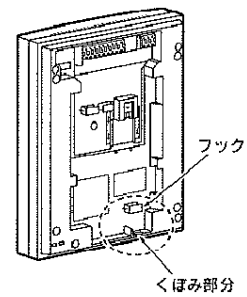


■露出配線する場合

●取付金具は取付用なべタッピンネジ(付属)で取り付けてください。

AC100V配線:
フックで固定し、ベースのくぼみ部分から下方向に配線する。
(上方向は小勢力配線と接触するおそれがあるため)

注 小勢力配線は露出配線できません。

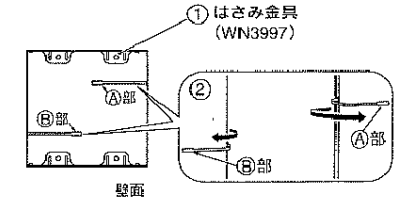


はさみ金具を使用した場合の取付金具の取付方法

(はさみ金具に石膏ボード用取付押え金具(2連用)(9~30mm壁用)(WN3997)(別売)をご使用の場合は下記の手順にしたがって施工してください。)

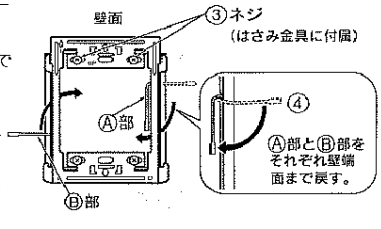
① 裏側に入れる
●はさみ金具を壁面の裏側に入れる。

② 仮固定する
●Ⓐ部とⒷ部を手で折り曲げ、壁面に仮固定する。



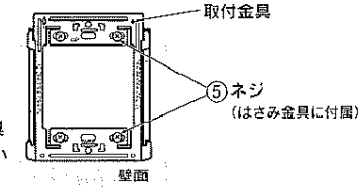
③ 仮止めする
●取付金具とはさみ金具をネジ(はさみ金具に付属)で仮止めする。

④ 戻す
●取付金具を左右に寄せⒶ部とⒷ部を壁端面まで戻す。



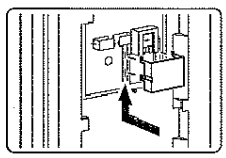
⑤ ネジで固定する
●取付金具とはさみ金具をネジ(はさみ金具に付属)で固定する。

注 Ⓐ部とⒷ部を取付金具と壁面にはさみ込まないようにしてください。

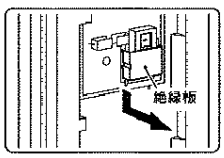


絶縁板について

取り付け方
●結線後、ツメをミゾ(4カ所)に差し込み上へあげる。



取りはずし方
●絶縁板を下にさげてはずす。



●ボックス取付の場合は、絶縁板は不要です。
●ボックスなし取付の場合で壁面内に充填するグラスウールなどが接触するときや、露出配線する場合は、内線規程により、絶縁板を取り付けてください。

本社〔〒571-8686〕大阪府門真市大字門真1048 TEL (06) 6908-1131(大代表) 松下電工株式会社

6A2 A05 00003

機能設定

●機能設定は、電源(AC100V)を切った状態で設定してください。
電源を切らないと、正しくデータ登録ができないため、正常な動作をしない場合があります。

(注)カラーカメラ子器(センサー内蔵タイプ・センサー別置タイプ)を接続する場合は、ドアホン呼出スイッチを「有」側に設定してください。

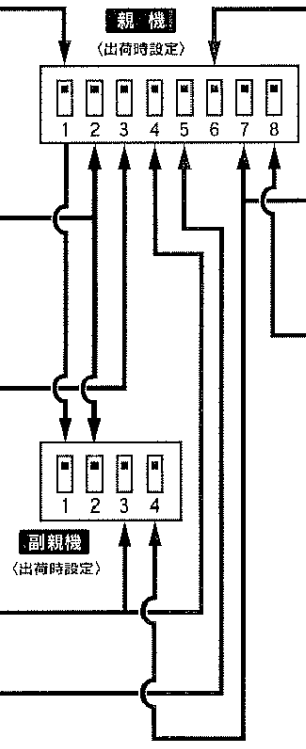
ドアホン1端子設定

■ドアホン呼出スイッチ(親機・副親機:スイッチ1)
●親機・副親機ごとに応答する子器を設定します。
■有側:子器からの呼出を受け付けます。
(子器から呼ばれたときに呼出音が鳴り通話できます。)
■無側:子器からの呼出を受け付けません。
(子器から呼ばれても呼出音は鳴らず通話できません。)

ドアホン2端子設定

■ドアホン呼出スイッチ(親機・副親機:スイッチ2)
●親機・副親機ごとに応答する子器を設定します。
■有側:子器からの呼出を受け付けます。
(子器から呼ばれたときに呼出音が鳴り通話できます。)
■無側:子器からの呼出を受け付けません。
(子器から呼ばれても呼出音は鳴らず通話できません。)

■ドアホン選択スイッチ(親機:スイッチ3)
●カラーカメラ子器を接続する場合に設定します。
■ドアホン側:カラーカメラ付ドアホン子器またはドアホン子器を接続する場合に設定します。
■センサーカメラ側:カラーカメラ子器(センサー内蔵タイプ・センサー別置タイプ)を接続する場合に設定します。



拡張機器設定スイッチ(親機:スイッチ6)

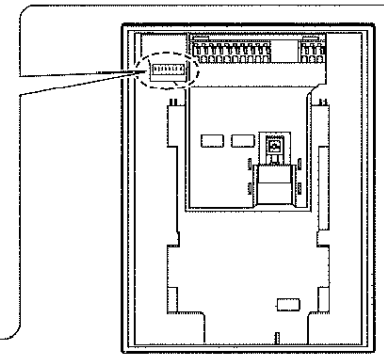
●拡張端子に接続する機器を設定します。
■A側:ドアホンアダプターを接続する場合に設定します。
■B側:ドアトークターミナルを接続する場合に設定します。

使用しません。(親機:スイッチ7/副親機:スイッチ4)

必ず「■(出荷時設定のまま)」で使用してください。

使用しません。(親機:スイッチ8)

必ず「■(出荷時設定のまま)」で使用してください。



親機・副親機裏面

ドアホン3端子設定(詳細は「ドアホン2端子設定」と同じです。)

■ドアホン呼出スイッチ(親機:スイッチ4/副親機:スイッチ3)

■ドアホン選択スイッチ(親機:スイッチ5)

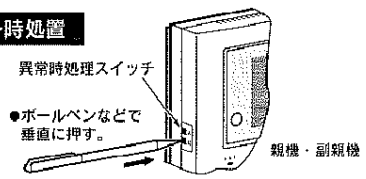
施工後の動作確認方法

施工後、取扱説明書にしたがって動作の確認を行ってください。
異常がある場合には、下記にしたがって処置してください。

(注)施工後、電源を入れた後約10秒間は初期処置を行いますので、操作しないでください。

親機・副親機が異常な状態の一時処置

電源(AC100V)を切ってください。
切れない場合は、異常時処理スイッチを「切」側にしてください。
(すべての機能が停止します。)



状態	点検	処置
●全く動作しない ●時々動作しない	AC100V用電源線は正しく接続されていますか? ●AC100Vが給電されていない場合があります。 ●速結端子に確実に接続されていない場合があります。	➡電源線を確実に接続してください。
	異常時処理スイッチは「入」側になっていますか?	➡「入」側にしてください。
●映らない ●画面が一瞬明るくなるが、すぐ消える ●勝手に鳴動する ●通話に雑音が入る	配線は正しく接続されていますか? ●屋内配線と屋外配線との接続部(ジョイント部)が、接続不十分の場合があります。	➡端子は増し締めを、接続部はハンダ付処理か圧着スリーブ処理を確実に行ってください。
●映りが良くない	カメラ部の保護シートは、はずしてありますか?	➡施工後、保護シートは、はずしてください。
	設置場所は適切ですか?	➡映りは、カラーカメラ付ドアホン子器・カラーカメラ子器の設置場所の条件によって変化しますので、子器の説明書にしたがって適切な場所に設置してください。
	映像補正の設定は適切ですか?	➡映像が映し出されているときに、本体表面の映像補正ボタンを押して、調整してください。
	明るさの設定は適切ですか?	➡映像が映し出されているときに、本体下面の明るさ切替ボタンを押して、調整してください。 (カラーカメラ子器の映像を映し出している場合は、明るさ切替ボタンは使用できません。補助照明を設置してください。)
●カラーカメラ子器の映像が映らない	ドアホン選択スイッチは正しく設定されていますか?	➡カラーカメラ子器を接続する場合は、「センサーカメラ」側にしてください。(上記「機能設定」参照)
	センサーセットされていますか?	➡親機のセンサーボタンを押してください。
●呼出音量が小さい(または大きい)	呼出音量の設定は適切ですか?	➡映像が消えているときに、本体下面の呼出音量切替ボタンを押して、調整してください。
●子器からの呼出音が鳴らない	ドアホン呼出スイッチは正しく設定されていますか?	➡通話する子器は「有」側にしてください。(上記「機能設定」参照)
●通話がとぎれる ●相手の声が聞こえない ●自分の声が相手に伝わらない ●通話に雑音が入る	工事中の騒音などで音声がとぎれていませんか?	➡まわりの音が大きく騒がしいとき、音声がとぎれることがあります。
	配線の接続は適切ですか?	➡表面「配線上のご注意」にしたがって、配線を見直してください。 (特に既設配線を使用された場合は、必ず確認してください。)
●接続している電話機やトーク親機が使えない	拡張機器設定スイッチは正しく設定されていますか?	➡ドアホンアダプター接続時は「A」側、ドアトークターミナル接続時は「B」側に設定してください。(上記「機能設定」参照)
	トーク親機にドアトークターミナルを登録しましたか?	➡登録しないと使用できません。トーク親機に付属の説明書にしたがって登録してください。

A・セキュリティ事業部 津工場〔〒514-8555〕三重県津市大字藤方1668 TEL(059)228-1211(代表)